１／２８（金）の発表

はじめよう、つづけよう。
「新北海道スタイル」
～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時　１月２８日（金）１３時００分

発表項目（行事名）	令和３年　檜山管内の漁業生産状況（速報）について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	令和３年（１月～１２月）における檜山管内の漁業生産状況について、別添資料のとおりお知らせします。 なお、本数値は、檜山振興局管内と熊石地区（八雲町）の水揚量の集計（属地統計）です。		
参考			

報道（取材）に当たってのお願い		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当（連絡先）	檜山振興局産業振興部水産課（担当者：中野） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１３９－５２－６５５１ 内線　　６３１０－２６１１

R4年1月28日

令和３年　檜山管内の漁業生産状況（速報）について

檜山振興局産業振興部水産課

令和３年（１月～12月）における檜山管内の漁業生産（速報）は、3,298トン、24.7億円となる見込みで、前年（3,336トン、19.9億円）と比べ、数量は約38トンの減となったものの、金額は約4.8億円の増となりました。

魚種別に見ると、スケトウダラやスルメイカの水揚げが減少した一方で、サケの水揚げが増加となっています。

＜主な魚種別の動向＞

サケ ［水揚げ金額第１位］	放流事業に取り組んでいる秋サケは、数量は866トンと前年（570トン）より５割増、金額は7.3億円と前年（3.8億円）の９割増となり、金額は昭和33年の統計開始以降、最高を記録した。
スケトウダラ	スケトウダラは、漁期を通して水揚げが前年を下回り、数量は282トンと前年（466トン）の４割減、金額は0.4億円と前年（0.7億円）の４割減となった。 ※すけとうだら延縄漁業の漁期：11月１日～翌年３月31日
ホッケ	ホッケは、数量が310トンと前年（386トン）の２割減、金額は0.2億円と前年（0.3億円）の３割減となった。
スルメイカ	スルメイカは、６月の漁期始めから操業が始まったものの水揚げは低調で、数量は325トンと前年（382トン）の１割減、金額は２億円と前年（2.2億円）の１割減となった。
タコ	タコは、数量は252トンと前年（328トン）の２割減、金額は1.4億円と前年（1.6億円）の１割減となった。
ナマコ ［水揚げ金額第２位］	ナマコは、数量は66トンと前年（70トン）より１割減となったものの、金額は4.6億円と前年（3.5億円）より３割増となった。
ウニ ［水揚げ金額第３位］	ウニは、数量は47トンと前年（41トン）より１割増、金額は3.9億円と前年（2.9億円）より３割増となった。
その他	・ニシンの数量は、７トンと前年（７トン）並 ・ヤリイカの数量は、３トンと前年（１トン）の３倍 ・アワビの数量は、５トンと前年（２トン）の2.5倍

※檜山管内と熊石地区（八雲町）で水揚げされた数量（属地：管外での水揚げを含まない）。
※ウニ、カキはむき身重量、海藻類は干し上がり重量